

H-II ロケット

- 単体で遠くから見るとそこまで大きく見えなかったが、人が前にたって比較してみると想像以上に迫力がありました。
- 大半がエンジンなどに使われており、生活スペースがロケットの大きさに対してほとんど半分だと書かれていました。



宇宙服の模型

- 「宇宙服1つで宇宙船」と話されていました。これは背中に装備されている箱が生命維持装置になっていて、宇宙服を着ることで宇宙船外でも活動が可能になっているからだそうです。
- 宇宙服を着た状態だと下を自身を見ることが難しいため胸元などにある文字や数字が鏡文字になっていて、左手の手首にある小さい鏡で読んでいるそうです。
- 近くで見ると想像よりも動きにくそうでこれをきて宇宙で作業することはとても大変そうだなと感じました。



閉鎖環境適応訓練設備

- 窓もテレビもない閉鎖空間で10名で一週間共同生活をして、適正かどうか訓練をする施設になっています。
- 訓練では協力をして課題に取り組んだりするそうです。
- 模型が展示されており外から見ると広くみえたが、ここで1週間10人で過ごすとなるとストレスが溜まってしまいそうで、その中でどのように協力して活動ができるかが本当に大切で宇宙飛行士に必要なことなのか感じることができた。

